

3 不祥事根絶のための行動計画【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

令和6年度

1 使命	私たち新庄小学校教職員は、子どもたちを守り、育てます。
2 遵法	私たち新庄小学校教職員は、法令を遵守します。
3 公正	私たち新庄小学校教職員は、不祥事を許しません。
4 公開	私たち新庄小学校教職員は、地域に開かれた学校にします。

北広島町立新庄小学校

校長 大丸 哲男

不祥事根絶のための行動計画

私たちは、教育公務員として法令を遵守し、高い倫理観と使命感をもって職務遂行を遂行します。

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法 時期
教職員の規範意識の確立	○規範意識はあるが、服務研修において、自分のこと・自校のこととして捉え、改善していこうとする意識には個人差がある。	○服務研修の方法や内容等を見直し、体験的な研修方法を取り入れて、自分のこと・自校のこととして捉え、当事者意識を高める。	○法規法令や「緊急メッセージ」(県教委 R6.5)の周知徹底を図り、教職員としての自覚と責任を再確認・再認識する。 ○ロールプレイや実践例の交流、視覚的資料、外部講師等の研修方法の工夫を行う。 ○学期1回、不祥事防止チェックシートを活用することで、当事者意識を高める。 ○低・中・高部会や男女別等のグループ研修も取り入れ、研修形態を工夫する。 ○「求められる教職員像」+「各校・個人の決意表明」をカード化し、名札に入れて常時携帯する。	○服務研修を振り返り、自分自身の学びをファイルにし記録として残す。 ○定期的に「自己チェックシート」を実施し、振り返りを行う。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○気軽に相談したり気付きを出し合ったりする雰囲気はあるが、言いにくいことでも、互いに指摘し合うまでには至っていない。 ○不祥事防止委員会及び服務研修の内容の更なる充実が必要である。 ○「働き方改革」に対する意識が進み、時間外在校時間が短縮されてきているが、個人差がある。	○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようにする。(互いに指摘しあったり気付きを出し合ったりする) ○不祥事防止委員会の一層の充実を図る。 ○メンタルヘルス・ワークライフバランスの保持に努める。	○気軽に相談できるように、お互いに目配りや心配りを大切にして積極的にコミュニケーションをとり、風通しのよい職場環境を創る。 ○校務分掌部会、隣接学年等で互いの仕事の進捗状況や学級の状況を確認し、特定の者に負担がかからないようサポートしたり、課題に対して複数又は学校組織として対応したりするチーム体制を確立する。 ○月中行事の際、不祥事防止委員会・服務研修の期日や内容等について計画案を確認し、優先的に開催していく。 ○「働き方改革」から「働きがい改革」を目指し、更なる業務改善や校務分掌の見直しを行う。 ○日常的な声掛けや、月1回程度の個別面談(1on1)等を実施し、職員個々が抱えている悩みや願いを把握し、業務等の負担軽減を図る。 ○「ワーク×ライフバランス」を意識して働くことを推進する。 ○働き方改革を推進するために、業績評価(自己申告)書に「時間外在校時間月45時間以内、年次有給休暇年間10日以上取得」の項目を設定する。	○月に1回、不祥事防止委員会で情報交換・状況を把握する。 ○学期に1回、企画会等で学校運営や校務分掌に係る取組等について振り返り改善を図る。 ○月1回の衛生委員会で職員の様子や状況を把握する。 ○各月の時間外在校時間や年休取得の情報提供を行う。
相談体制の充実	○職員相互の支援体制はあるが、児童・保護者が気軽に相談できる雰囲気づくりの充実が必要である。	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント、パワハラ」の周知を図り、相談しやすい体制をつくる。	○学校HPや学校だよりや学級懇談会等で保護者に周知する。 ○校舎内全ての教室にポスターを掲示し、時機を見て児童に呼びかける。 ○児童や保護者アンケートを実施したり学期末懇談会に相談事はないか、保護者に話かけたりする。 ○スクールカウンセラーを有効に活用する。	○相談の記録、相談内容について記録簿に記入する。 ○各学期、児童・保護者を対象にアンケートを実施する。